

内閣情報部五・一三 情報第三

一 成都U。P 新聞電報放送 (九〇) 一 (上海總督府交通局遞信部聴取)  
重慶發

行政院長兼財政部長孔祥熙は本日ユービー記者と意見の際農民並に日本軍占領地域内在住民救済問題に關し左の如く語つた。

中國政府は一般農民及日本軍占領地域内に居住する支那民に對し日本の經濟的支配に反抗し全國的に抗戰繼續の爲めあらゆる援助を與へてゐる。戰爭地帯と化した各省、縣に於ける我統治機關は全地域の七%を除き尙完全に機能を發揮しつつあり、我政府は昨年を通じ日本軍の移方に居住する支那民へ省主席若くは救護委員等の政府機關を経て救済資金を送金せしが將來も特別事情の發生せざる限り同一機關を通じて送金を繼續する方針である。我政府は過去に於て急を要する特殊の場合外國慈善團體に對し日本軍占領地域内の我貧民救済資金寄附方を懇請し友邦より多大の援助を得たるは我等の感謝措く能はざる所である。日本は我法幣の流通を禁止して經濟界を支配せんと試みつつあるが我政府は左したる痛痒を感じるものにあらず。日本は唯僅かに某軍隊駐屯地帯のみに於て之を禁じ得るに過ぎず而も駐屯地は少數なるが故重視する必要なし。日本軍占領地區

内に於ける支那民の復興は財的及技術方面の助力を仰ぐこと容易なるのみならず農民の相互援助等により健全に發達しつつある。我等事變以來幾多の貴重なる訓教訓を學んだが經濟問題の解決方法なども其一にして今日の我經濟状態は昔日比し遙好轉してゐる。我等は勤くも事變勃發以來現在に至るまでに相當する期間抗戦を續ける覺悟なるが、此間我國は歐米諸國の援助の下に着々甦生復活することを確信する、英、米、佛三國は有形無形に我國に甚大な援助を與へた結果我國民は此等友邦に對し深甚の謝意を表してゐる。

我國と右三國は戦後必ずや經濟的に一層緊密の度を加へ我國の復興に要する資金の供給或は海運、重工業等の方面へ投資する機運に向ふは明である。我親善國の資本家は我國が將來巨額の資金と莫大なる物資を必要とする關係上常に我國を援助するに止まらず各自國の産業を發展せしむる絶好の機會を迎へるに至るべく此場合我國と此等諸國が互恵

の精神と機會均等主義を遵守するは勿論である。  
我西部諸省では既に揚子江方面に移動された諸工場と巨額の資本を以て大規模の産業復興に着手してゐる。而して多額の外國資本も旺んに流入し鐵道の建設、トラック輸送路の開設其他の開発に重要役割を果しつつある現状なるが我等は更に外國資本を輸入して復興を完成せんことを期してゐる。

極

内閣情報部五・一三 情報第四號

重慶佛語放送（九日）

（東京都市通信局聴取）

講演

日本の軍閥は中國政府が挑戰的態度をこらなかつたのにも不拘先づ北支に次で中支、南支に續々と無数の大軍を上陸せしめて戦果を擴大し中國軍隊の死傷者は云ふまでもなく無数の老若男女の生命を奪ひ財産を灰燼に化せしめ肥沃の土地を荒野となし幾多の都會を荒涼たる廢墟に歸せしめてゐるばかりでなく遂には中國の獨立權さへも否定せんとするかの如き暴戾な態度を示して居るのであるが彼等が二十二月以來中國に於て爲した惡慮非道に勝ることも決して劣らない慘禍は四千年の歴史と傳統を誇つてゐる東洋文化の源である中國の文化的施設即ち各地の大學を始めとして中少學校科學研究所、歴史的建造物再び得る事の出来ない美術品や或は三千年の生命を伴つてゐた古籍類乃至は圖書館の如きが文化の何物であり、歴史の尊さの何物であるかを解しない敵軍將兵のために犠牲となつて戦闘地域に於ける空爆、火災のために惜しくも灰燼に歸し又は日本軍の占領地に於て彼等のために損傷せられ或は持去られたものなど其數を知らず斯して日本軍の中國侵略以來二ケ年の間に蒙つた文化關係の損害だけでも實に數億弗に達する見込である。

75